

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(R8.7.1)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャトネラ spp.	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	コックロデニウム ポリクリコイデス
1. 大在	7:39	0	23.0	-	-	1	0	0	0
2. 神崎	7:55	0	22.7	-	-	4	0	0	0
3. 古宮	8:12	0	22.3	-	-	0	0	0	0
4. 一尺屋	8:35	0	22.0	-	-	0	2	0	0
5. 下の江	10:02	0	22.6	32.24	7.6	1	1	0	0
		2	22.6	32.32	7.8	0	0	0	0
		5	21.5	33.01	7.6	0	0	0	0
		10	21.2	33.32	6.8	0	0	0	0
6. 下の江(奥)	10:13	0	23.4	31.45	7.5	0	0	0	0
		5	21.5	33.07	7.4	0	0	0	0
7. 日ノ浦	10:27	0	22.9	27.99	7.7	1	0	0	0
		5	22.1	32.66	7.9	0	0	0	0
8. 三つ子養殖場 大分みらい水産	10:23	0	22.6	32.08	7.5	0	0	0	0
		5	21.8	32.81	7.4	0	2	0	0
9. 三つ子養殖場 臼杵海産	10:20	0	22.7	31.82	7.5	0	0	0	0
		5	21.7	32.91	7.7	1	0	0	0
10. 黒島	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
11. 日代	11:25	0	21.4	-	-	0	1	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/cc)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャトネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コックロデニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アラビ、サザエ等ではキムロデニウム・ミキモトイで100~200細胞/ccで斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

連絡事項:

有害プランクトンのシャトネラspp.およびカレニア・ミキモトイが確認されました。

魚介類の管理に十分ご注意ください。

